



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本康朋

2021年9月29日

東京臨海 RC 【第1214例会】
東京臨海北斗 RSC 【第23回例会】

東京臨海RC

創立：1994年8月8日
会長：佐藤大輔
副会長：杉浦孝浩
幹事：勝間田健一
プログラム構成委員長（会報担当）：田中紘太

東京臨海北斗RSC

創立：2020年12月18日
議長：坂本康朋
副議長：小松啓祐
幹事：勝間田健一

9月29日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海 RC 会員 山田政弘様
東京臨海北斗 RSC 会員 小林 誠様

10月6日の卓話

「米山月間にちなんで」
米山奨学生 レー・クオック・アン様

《2021年9月8日オンライン例会報告》 東京臨海 RC 第1213回 東京臨海北斗 RSC 第22回

司会：金城会員



- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長
- ロータリーソング斉唱「我等の生業」
：ソングリーダー：今井会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長
ゲストスピーカー 菅澤卓也様
ゲストスピーカー 樋口義之様
米山奨学生 レー・クオック・アン様（オンライン参加）
- ビジター紹介：寺田雄司会員
本日は、いらっしやいませんでした。
- ご挨拶：米山奨学生 レー・クオック・アン様



■ 会長報告：佐藤大輔会長

- ・ 9月13日（月）に開催されます東区分 IM は、更に規模を縮小しての開催に変更となりました。現地参加者は、各クラブから会長・幹事となり、そのほかの皆様は、ZOOM での参加をお願い致します。今週中に、再度、IM の ZOOM ミーティング情報をご案内させていただきます。
- ・ 先週お話ししました「佐賀・長崎豪雨災害支援金」と、「広島豪雨災害支援金」については、先週9月1日の定例理事役員会にて検討し、現在オンライン例会のため募金をお願いすることができませんので、理事役員会に出席している理事役員で寄付金を拠出し、「佐賀・長崎豪雨災害支援金」として1万円、「広島豪雨災害支援金」として1万円を地区へ送金致しました。
- ・ 第2750地区主催の「世界ポリオデートレインジャック」に当地区も共催することになりました。第2750地区から届いたフライヤーが会員数分届いております。後日、お手元にこのフライヤーが届きまし

たら、記載されているQRコードからプロジェクトのホームページに繋がりますので、活動の内容をご覧になってみてください。

- ・松坂順一パストガバナーと沖縄分区の会員有志により作成された「ロータリーの歴史年表」が、クラブに1冊届きました。興味のある方々で、回覧して活用下さいとのこと。回覧後は、事務局に保管して、次年度以降も継続的に活用してくださいとのこと。



■ 幹事報告：勝間田幹事

- ・当クラブ例会変更は下記のとおりです。
9月13日（月）の移動例会は中止し休会です。
9月15日（水）は当初より例会の予定はありません。
9月22日（水）は休会です。
- ・9月の定例理事役員会議事録を9月3日に会員皆様へメール送信いたしました。
- ・東分区 献血ロータリーデーが2021年10月30日（土）に錦糸町駅南口駅前広場にて開催されます。今回は、東京城東RCが主催となって行われます。当日の献血協力者募集のお願いを会員皆様にお送りしました。献血の参加基準等確認の上、ご協力頂ける方は、9月16日までに東京臨海RC事務局宛申込用紙を送付下さるようお願い致します。当日、密にならないように、申し込みの際に希望時間帯についても記載頂き申込をお願い致します。
- ・東京臨海北斗RSC会員の皆様へ、クラブ会費10月～12月分の請求書を郵送いたしましたので、9月末日までにお振込み下さるようお願い致します。また、クラブの取引銀行を東京東信用金庫に変更しておりますので、お振込みの際は、間違わないようお願い致します。
- ・9月12日（日）に予定されておりました第2580地区ローターアクト「水辺の清掃活動」は、新型コロナウイルスの状況を考慮し、延期することになったそうです。
- ・9月のロータリーレートは、1ドル110円です。



■ 地区委員会報告

- ・地区国際大会参加推進委員会（酒井委員長）ヒューストン国際大会（2022年6月4～8日）と当地区が現地で主催するガバナーズランチのお知らせ動画を地区のYouTubeチャンネルに公開いたしました。動画を放映しますのでご覧ください。

<https://youtu.be/QYlow9vW-Sk>

■ 出席状況報告：伊佐会員

東京臨海 RC

会員数：58名

出席：35名（例会場：21名 ZOOM：14名）

欠席：23名

出席率 63.645%

東京臨海北斗 RSC

会員数：22名

出席：15名（例会場：1名 ZOOM：14名）

欠席：7名

出席率 68.18%



■ ニコニコ BOX 報告

ニコニコボックスの募金は、行いませんでした。

【0件 0円 今年度累計 193,000円】

■ 卓話

「イニシエーションスピーチ」

東京臨海RC会員

菅澤卓也様

東京臨海北斗RSC会員

樋口義之様

◇東京臨海RC会員 菅澤卓也様

皆さん、こんにちは。

本日はイニシエーションスピーチという貴重な機会を頂きありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

皆様の中にも調べた方もいらっしゃると思いますが、

「イニシエーションスピーチ」を検索しましたが、ウィキペディアによりますと言いたかったのですが特段の記載はございませんでした。検索の中に定かではないのですが、ロータリー用語だという一文がございまして、自分の経歴や職業や考え方を他の会員に伝え理解を深めることと記載がありましたので、本日は自己紹介からさせていただきます！！

まず初めに、私の経歴には特段どうしようもない不良が一流学校に入学したとか、親が壮絶な親だったというような、皆さんの興味をひけるエピソードもございません。その辺りは、単調かつ単調なものとなりますのでどうか温かめ目線で宜しくお願い致します。

1979年生まれの御年42歳を迎える若作りの青年でございます。江戸川区出身葛西育ち。現在素敵な独身でして別れた嫁さんと離れて暮らす息子がいます。わざわざ離れた2人を話題にしましたが決して別れた嫁さんに未練があるわけじゃございません。

趣味は、離れて暮らす息子とお互いのどちらかが興味を持ったことに全力で遊んで楽しむことです。キックボクシングであたり息子と二人でキャンプだったりなんでもします。離れている分、息子を相棒と



呼んだりしながら一緒に楽しむことに貪欲なのかも知れません。旅行を三人で行ったりするのも趣味です。

皆さんもお気づきかと思いますが、離婚した後も関係が良好なだけでして、重ね重ね言いますが元嫁さんに未練があるわけじゃございません。離婚は悲しいことでしたが発想を変えて楽しんでおります。

仕事は、銀座の施工会社で勤務したのち、現在は、江戸川区に事務所を構えていわゆるダンプカーを扱って運搬業をさせて頂いております。

一時は、従業員が外国人1人と63歳の主任の二人だけになってしまいましたが、V字回復と言いたいところでしたが、非常に緩やかな基調で回復しております。お察しの方もいらっしゃるかと思いますが、4月入会にもかかわらず、江戸川区船堀に本社を構えていらっしゃる某企業様より売り上げの10%を新規で頂いております。ありがとうございます。20%となれるように頑張らせて頂きますのでよろしくお願い致します。

弊社では、代表取締役を離婚を機会に覚悟を決めて6年前に父に「代表取締役を変わってくれ」と直訴をしてやらせて頂いております。当初は、いきなりの申し出でして色々ありながら無事に6年を経過することができました。

代表取締役をさせて頂いておりますが、今でも私が自分でダンプを運転して、繁忙期には、昼も夜も連続勤務をしながら従業員にプレッシャーをかける毎日を過ごしております。

少しでも楽になりたいなと思いつつ、日に日に抱えるものが増える分だけ大変なことも増えていくのかなと実感しつつも建設業は根が深く強者も多い中頑張らせて頂いております。

2017年いわゆるダンプ屋さんという職種では、珍しく「JC」及び青年会議所に入会をさせて頂きましてロータリークラブ入会のきっかけとなりました。佐久間直前会長、坂本議長など元気で金払いの良い多くのメンバーと出会いました。

当時、JCの会議でロータリークラブのメンバーと一緒したときに感じたのは、野球でいえば強豪校のメンバーがうちのチームに来た！！という、感覚があったことを今でも覚えております。

JCでは、40歳で卒業式をやって卒業するという決まりがあります。JCという団体は素晴らしい団体と認識しておりますが、少なからず物足りなさも感じていた部分もありましたが、JC生活最後の年に、ロータリアンである彼らにそこを埋めてもらって素晴らしいJCライフをおくらせて頂きました。

そういった経緯もあって後にロータリークラブに入会をさせて頂く運びとなりました。

私は、そのロータリークラブでは、叶うならば社会貢献を担うこと・社業の発展・経営のノウハウ・一生の友人作りをしていきたいです。今、コロナのこのようなご時世であります、皆さんと多くの時間を共有して実りのあるロータリーライフにしていきたいと思っております。今後とも菅澤卓也を宜しくお願い致します。

以上でインニケーションスピーチを終えたいのです

が、15分と言われておりましたので続きまして佐久間直前会長の話をしたいと思います。

佐久間直前会長は、JCの江戸川委員会では、その時は有名なメンバーでした。当初、JCにはあまり出席をしておりませんでした。すごい人なんだなと興味津々でした。誰も委員長という役職が埋まらないなかで、佐久間直前会長を、多国籍パブで朝まで噂に聞く佐久間直前会長のもとで過ごしたい一心で、必死でカラオケで手を叩いて朝を迎えて、本人の素晴らしい決断で佐久間委員長が誕生したのが最初でした。

そのあと、佐久間直前会長から副委員長の打診がありました。朝までカラオケで手を叩いたのにもかかわらず、やってみよう東京JCの役職があったので断ってしまいました。

そして、今でも覚えているんですが、とある焼肉屋さんでみんなで懇親会をやっている時に、「俺言うておくけど、おまえの事、嫌いだから！！」って言われてショックを受けました。そりゃそうだよな！！と思いましたが、私なりにJC佐久間体制に貢献しなきゃなと思いつつ、直前委員長も誰も行かない他団体との交流ゴルフに率先して同行したり、国際フットサルというCSR活動を担当したりと微力ながら支えさせて頂きました。

「嫌いだから」と始まった間柄でしたが、それから二年ほどして、坂本議長とも出会い、「今、杉浦さんやロータリーのメンバーと飲んでるから！！」というお誘いを頂き出席したわけなんです。じゃあ、菅澤君来たから乾杯しようと言われたので、私は「乾杯の前にちょっと待ってください。今日のこの雰囲気、勧誘されるのかなと思いましたが、絶対に入会しないようしようと思いつつ、なぜかポケットに実印が入ってます」と言って乾杯となりました。

私なりに、ロータリークラブに入会するならば佐久間直前会長の時と思っておりましたので、滑り込みで入会させて頂きました。嫌いと言われたのですが、佐久間直前会長に僕なんかでも歓迎してもらえますか？？と聞いたら「そりゃ、嬉しいよ！！外様じゃない菅澤ちゃんだからさ！！」と、義理でも言ってくれたのでほっとしております。

まだまだ、人間関係の構築に時間は掛かりそうですが、少しずつ佐久間直前会長との関係も頑張っていきたいと思っております。

以上でインニケーションスピーチを終えたいと思っております。ご静聴ありがとうございました。



◇東京臨海北斗RSC会員 樋口義之様

本日イニシエーションスピーチを担当させて頂きます
「樋口義之」と申します。

皆様の貴重な時間の中で、このような機会を頂き、誠に有難うございます。短い時間ではありますが、少しでも私自身の事を知って頂ければと考えています。



拙い話もあるかと思いますが、最後までお付き合いください。宜しくお願い致します。

現在の家族構成は13歳下の嫁・長男(想)2歳9か月・長女(世奈)10カ月の4人家族です。子供達も僕に似て本当に可愛い顔をしています。

生い立ちになりますが、1980年11月5日生まれの40歳。誕生日は「11月5日(いい子)」の日と覚えて下さい。兄弟は3つ離れた弟が1人居ます。母の故郷である熊本県で生まれました。生まれただけではありませんが、女の子に対して九州男児っぽく振る舞う事もあります。

父は早稲田大学・法学部の出身で東証一部の会社で営業マンから始まり、最後は役員まで勤め上げました。今ではとても尊敬していますが、当時は特別裕福でも貧乏でもなく、一般的なサラリーマン家庭で育ちました。母は元々保育士をしており、現在も障害者を含む子供達へのダンス教室を開いています。

改めて振り返ると両親の間に生まれた事を本当に嬉しく、幸せに感じられるようになっていきます。僕も大人になりました。

幼少期の自分はとても負けず嫌いでした。そこは今も変わっていない部分の一つだと思っています。例えば、野球のテレビゲームが8回裏で負けていると、急に「やっぱり外で遊ぼう」と勝手に外に飛び出すような子供でした。

小学校1~3年までは実際に野球をしていましたが、打席に入り、バントのサインが出ると見て見ぬ振りをして打ちにいつてしまう様な全く野球に向いていない子供でもありました。元々体を動かす事が好きだった事もあり、野球を辞めてからはサッカーを始めます。高校もサッカー推薦で入学し、当時は根拠のない自信があり、本気でプロになれると思っていました。遊びが楽しくなってしまった事もあり、高校1年生でサッカーは辞めてしまいましたが、何とか高校卒業を果たしています。この時期には今は面影もありませんが、東京ストリートニュースという雑誌の読者モデルをやっていた時期もありました。面影はありませんが。

子供の頃から車が好きで17歳の時に先輩に名義を借りて中古のセンチュリーを購入し、教習所に自分の車に乗って通っているような、どうしようもないバカでした。高校を卒業してからも暫く生活は変わらずに、ガソリンスタンドでアルバイトをしながら遊ぶ毎日。ガソリンスタンドを選んだ理由としてはタダで洗車が出来るからという単純な理由でした。洗車だけで済め

ば良かったですが、仕舞には自分の車や仲間の車にはリッター単価を1円に操作してガソリンを入れてしまう様な「可愛い子」でした。

そんなバカみたいな毎日を過ごす19歳の僕に人生を変えるチャンスが訪れます。アルバイト先の年上の後輩からインターネット上でらば一と様なショッピングモールを作る、技術屋4人が集まっているだけで人を纏められる人間が居ない、これから作る会社の社長になって欲しい、と誘われました。先輩や友人たちと遊んでいる姿を見て声を掛けてくれたらしいですが、当時の僕にはなぜ自分なのか良くわかりませんでした。

ただ、一番初めに声を掛けているから話だけでも聞いて欲しい、と熱心をお願いをされた事もあり、日時を決めて話を聞く事にしました。当日説明を聞いてみても僕自身、当時はインターネットの事などよく知らず、聞けば聞くほど怪しい話に聞こえてきてしまい、その場で丁重にお断りをしました。

その後の数年はこの出来事を思い返す事もなく、連絡を取る事はありませんでしたが、今では誰もが知っている大企業となっています。当時、声を掛けてくれた方々は現在も役員として活躍をされています。先週スピーチをした倉田会員の言葉を借りれば「本当に、一体、何を考えていたんでしょう」となるかと思えます。

この話を断った直後に、車が好きだった事を活かして中古車販売の営業として就職する事になります。入社後3か月から独立するまでの5年間は15人前後の営業の中で、一番の販売成績を収め続ける事が出来ました。この期間で営業として数字を作る楽しさや実績を上げ続ける事の難しさ・大切さ、その壁を乗り越えた時に感じる達成感や遣り甲斐を学び、今の業務にも少なからず役立っているかと思えます。

5年間ほどこの会社にお世話になり、満を持して独立をする事になりましたが、今思うと勢いだけの素人経営。失敗して当たり前の会社ごっこでした。会社自体は5年程続きましたが、自分の力の無さを痛感する結果となります。

その後は営業コンサルや仲介業などを経て、縁あって現在の京葉鈴木グループに営業としてお世話になる事となります。全く別業界からの入社だった事もあり、最初は会議で飛び交うm3(リュウベイ)すら分からずに正直不安な気持ちも覚えました。周りのサポートもあり、あと2カ月で7年目を迎えます。

こうして自身の人生を振り返ってみても、今が一番人としての成長を感じられ、充実している時間かもしれません。緊張感があり、遣り甲斐のある環境、鈴木代表を始め、尊敬できる上司や仲間、心から京葉鈴木グループが大好きです。そう思わせてくれたこの会社へどれぐらいの恩返しができるか、グループや業界の為・また関わった人の為に何が出来るのか、何をすべきか、日々自問自答をしながらも本当に楽しく仕事をさせて頂いています。

今、こうして何事も前向きに捉えられる様になった背景には自分を変えてくれた言葉があります。その内容に少し触れたいと思います。

僕が21歳の頃に人生で初めて尊敬した母方の祖父が亡くなりました。祖父は熊本県阿蘇市にホテルを開業し、今も母の兄弟が二軒のホテルを継いでいます。祖父の葬式には1200名程が参列し、初めて会う祖父の友人や仕事関係の方々から生前の話を聞く機会がありました。口を揃えて言われた事は「自分の事よりまず相手の事を考える人。自分が損してでも相手の為に動く人。」という事です。

色々な意味で「ザ・九州男児」の祖父でしたが、亡くなってからも孫に本当にたくさんの想いを残してくれたと感じました。14人居る孫の中で一番心配を掛けた分、一番面倒を見て貰ったと思っています。そんな祖父に言われた言葉を紹介させていただきます。「何をやっても良か。じいちゃんが守ってやる。ただ、心の矢印を相手に向けちゃいかん。常に自分に向けておくんだぞ。それを続けていれば自然と人が寄ってくる。」という言葉です。

どうしてもその場の感情が勝つ事もあり、簡単なようで難しい事ではありますが、僕自身すごく大切にしている言葉です。

例えば、【部下や仲間が仕事でミスをする】これは、→自分の説明不足、育成が足りていない自身の責任 →最後まで確認や支援を怠った自身の責任、と置き換えます。

心の矢印の向きを意識して実行するようになってから、普段の接し方や相手が何を考えているのかを察する力。相手の立場になって物事を捉える力が付いてきたと実感しています。

自分自身も子供達や孫・仲間に誇れるような人生。大切な事を伝えていけるような生き方が出来るように、日々成長を続けていきたいと思っています。続けていきます。

纏めになりますが、自分は本当に人に恵まれて生かされている人生だと思っています。

京葉鈴木グループとの出会い。こうしてロータリーの先輩方と交流が持てる事。自分という人間を知って貰える機会を頂けた事。全てが自分自身の今後の人生に活かされる事だと信じています。

今は思うようにコミュニケーションを取りづらい環境ではありますが、これからも末永いお付き合いの程、宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。



■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長

(佐藤大輔会長)

菅澤会員、樋口会員ありがとうございました。ちょっと短かったですが、面白かったですね。やはり人柄もわかって非常に良いですね。わたくしも離婚はしていないのですがイスカandalより遠いです。未練はあります。本当にコロナが収縮し、お酒でも飲みながら懇親を深めたいと思っています。

我々もオンラインでどうしたら充実したものになるのか試行錯誤していますが、オンラインで参加してくれている方にも参加してよかったと思っていただけるような形を目指していきます。

(坂本康朋議長)

菅澤会員、樋口会員

イニシエーションスピーチありがとうございました。私も現役のJCということで菅澤会員とは色々話してRCに入会してもらったことを思い出します。燃料の仕入れ額などもRCを通じて情報交換をして学ばせていただきました。私も運送業界しか共有できないですが、情報を共有することで自社に戻せると思います。一人でも多くの方に臨海RCをご紹介いただければと思います。

引き続き、ご協力、ご理解いただければと思います。



東分区インターシティ・ミーティング開催報告

日時 2021年9月13日(月) 14:00~16:50

会場 東武ホテルレバント東京&リモート
新型コロナウイルス感染状況により、規模を縮小しての現地会場参加者の人数制限を行いながら、リモート参加をお願いしての開催となりました。

当クラブ佐藤大輔会長は、パネルディスカッションのパネラーとして参加され、当クラブ酒井教吉会員は、地区国際大会参加推進委員長として、国際大会のご案内をされました。

